

隊友夷隅だより

NO13号

H31年2月1日発行

発行：千葉県隊友会夷隅支部

編集：支部長 高橋 清三

公益社団法人千葉県隊友会

会員数 3100名

支部数 36支部

夷隅支部員 22名

2018年3月末現在



【H31年度新年総会開催
夷隅支部方針等決議され
ました】
今年度の新年会（総会）は、
1月24日（木）14:00から勝浦
市鶴原の高台にある「かんぼ
の宿」勝浦で、支部員10名参
加で開催されました。夷隅支
部は今年度活動方針として、
昨年度末新たな社会貢献事業
となる①千葉県夷隅地域防災
倉庫への支援活動と②現自衛
隊員家族安否確認支援協力③
「沖風」慰霊顕彰事業を積極
的に推進し④会員の福祉と親
睦の為の事業を継続しつつ
（車移動ウォーク会、花見会
食会、忘・新年会等）隊友会
の魅力に努めてまいります。
（今年度主な活動予定表は別
紙のとおり）

【駆逐艦「沖風」慰霊祭に 参加】

一月10日（木）午前9時から
勝浦市川津港近くにある「津
慶寺」宇野住職により、(昭和
18年1月10日日本海軍駆逐
艦「沖風」が東京湾警備中、
米潜水艦「トリガー」の電撃
により勝浦灯台南方8海里に
て沈没乗組員154名中54名が
戦死、戦後生き残りの方で、
吉田様自費で海の見える勝浦
灯台近くの高台に慰霊の観音
像を建立されたもので、現在
東北盛岡市に在住、遠方で、
高齢の為夷隅支部は代わりに、
維持管理清掃等に協力してい
ます。1月10日は祥月命日
に慰霊祭を遺族関係者、勝浦
市役所広報職員、夷隅支部員
6名参加見守る中、厳粛に営
まれ午前10時に終了解散し
ました。夷隅支部は、慰霊祭
に備え、昨年11月24日（土）
に6名にて観音像周辺の草刈
り清掃を行っておりました。



【県部隊研修会に参加】

30年11月28日（水）には、例
年部隊研修が行われておりま
すが、今年度は陸上自衛隊松
戸駐屯地で、開催され夷隅支
部員3名が参加、自衛隊唯一
の落下傘修理、緊急災害派遣
用補給基地、又、当日は、国
内災害派遣時の被災者への
「お風呂入浴」体験展示され
大変有意義な部隊研修でした。



【自衛隊の諸業務活動に 対する協力・支援について】

大規模災害時等における派遣
隊員の留守家族支援に関する
協定書により、夷隅支部員が
可能担当が決まり登録され今
年1月～3月の間には支援要
望隊員家族との自宅訪問、面
談を開始予定となりました。
何卒ご協力お願い申し上げま
す。

【県夷隅防災備蓄倉庫管 理支援について】

夷隅支部は、市原支部（秋重
支部長）と共同で、大多喜町
森宮にある県の防災備蓄倉庫
（千葉振興事務所）の視察、
見学を昨年9月27日（木）に
夷隅地域振興事務所次長さん
案内で夷隅支部員7名、市原
支部員4名で実施。

【会員紹介】



今回は冒険家三浦雄一郎氏と同年齢の終身会員A氏を紹介したいと思います。A氏は、陸自練馬普通科第1師団を経て除隊時にいすみ市内宅地 400 坪に自宅を建て、現在は健康面と趣味を兼ね、自宅庭園ビニールハウスにて、中には直売所からの依頼もあり、スナップエンドウ苗、とか、キュウリ、ナス、他多数の苗造りされ、毎日元気に過ごされている事には敬服するばかりです。

【活動報告】 H30年9月～H31年1月

NO	日 時	行(活動内容)事	参加者等
1	9月1日(土)	「隊友夷隅だより」第12号発行	
2	9月27日(木)	千葉県(夷隅地域振興事務所)防災備蓄大多喜森宮倉庫見学視察研修	夷隅支部7名 市原支部4名
3	10月2日(火)	高射学校総務部厚生課長より、家族支援安否確認支援可能者依頼あり、支部員名簿提出	支部員 7名 登録
4	11月10日(土)	千葉県陸海空自衛隊「追悼式」下志津駐屯地	高橋支部長
5	11月24日(土)	後期支部会議「沖風」観音像周辺草刈り、「大原自治会館」	支部員 8名
6	11月28日(水)	県部隊研修会「松戸駐屯地」10:30～14:00	支部員 3名
7	12月16日(日)	長生・夷隅支部長忘年会「長生田舎家」	2名
8	31,1月10日(木)	「沖風」慰霊祭参加、勝浦市川津港	6名
9	1月24日(木)	31年新年会(総会)開催、「かんぼの宿」勝浦	10名

【会員動向】今回は、会員入退会者はありませんでした。夷隅支部員の現況について、ほとんどの会員は終身会員(入会時から年会費¥3000円を10年納入済みの方)ですが、1部の方は年会員(毎年¥3000円納入)となっています。

現在は、この年会員制のみ(3年前から、終身会員制度は廃止され、今迄の終身会員はそのまま有効会員です。)となり、年会費¥3000円納入している方(終身会員様にも年¥3000円以上寄付頂いている方)には、毎月「機関紙、隊友」を配布しています。**会費納入お忘れないうちよろしくお願ひします。**

【編集後記】「隊友夷隅だより」発行も13号を迎え6年が経過しました。夷隅支部もようやく隊友会本来の社会貢献的活動が出来る支部になりましたが、会員の半数近くの会員様が、何らかのお仕事をもち働きながらも、活動に参加、ご協力して頂いている事に深く感謝申し上げます。一方高齢化が進み、参加したくとも出来ない方もおられると思いますが、年に1度ないし2回位は「人生の楽園となる様な身近な里山で雑談、「花見茶話会」も親睦の一つではないかと思ひますが、如何でしょうか。